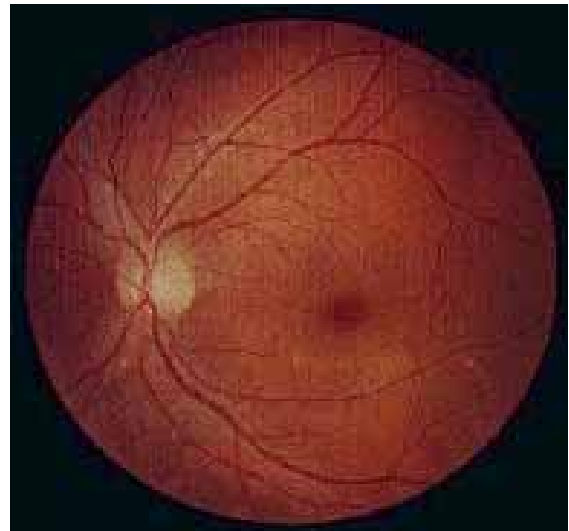
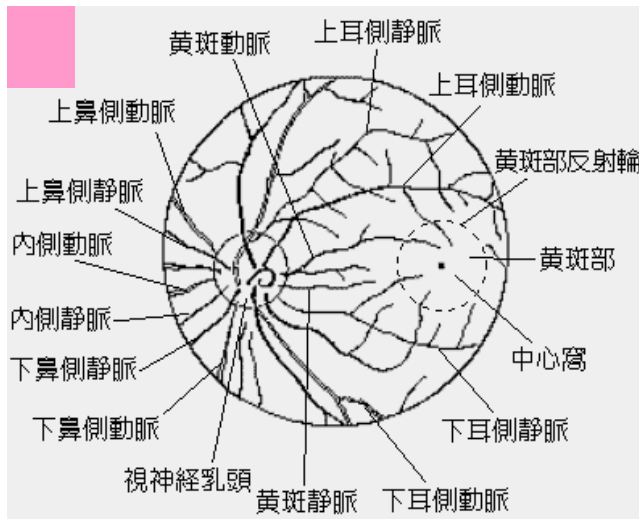


眼底検査

眼底は血管を直接見ることができる唯一の場所です。だから高血圧や糖尿病などの動脈硬化を起こす病気の状態を、眼底の血管の状態から推し量ることができるのです。また、光を感じる網膜や、光の刺激を脳に伝える視神経の状態から、加齢黄斑変性症や網膜色素変性症などの網膜の異常や視神経が萎縮する緑内障を診断するのに、この検査は欠かせません。

何を見ているの！



上のような眼底写真から、次のような異常な所見が見つかることがあります。

1. 高血圧や動脈硬化による異常の例
 - ・動脈の太さが細くなったり（細動脈狭細）、一定でなくなる（管径変化）
 - ・動脈と静脈が交差するところで、静脈が動脈に押されてくびれたり、曲がったり上流側でせき止められたりする（交差現象）
 - ・血管が詰まって出血する（眼底出血）
2. 糖尿病による異常の例
 - ・動脈に接して、微細な赤い点状の毛細血管瘤がある
 - ・点状～斑状、あるいは広い範囲の出血がある
 - ・白斑がある
3. 眼科的な病気による異常の例
 - ・乳頭の異常な凹み（陥凹）など、乳頭部の変化がある
 - ・網膜の裏側にある脈絡膜の血管が、網目のように透けて見える（近視による豹紋様眼底）
 - ・網脈萎縮、網脈裂孔、ドルーゼ（白っぽい斑点）など、網脈面の異常がある

各分類の所見説明

Sheie分類

高血圧性所見（H）と動脈硬化性所見（S）の変化を表した分類

| 分類 | 所見 | 所見の意味と対策 |
|----|--------------------------------|---------------------------------|
| 0度 | 正常 | |
| 1度 | 細動脈の反射光が強くなり 軽い動静脈交叉現象が見られる | 軽い動脈硬化 予防のため、日常の生活習慣に注意 |
| 2度 | 反射が高進し、交叉現象も著明 細動脈の狭細あり | 中等度の動脈硬化 日常生活上の対策も十分に |
| 3度 | さらに出血や白斑が見られ 交叉現象も著明 | かなり進んだ高血圧や動脈硬化 医師による管理・治療が必要 |
| 4度 | さらに網膜浮腫や乳頭浮腫が 加わる | 重症の高血圧と動脈硬化 強力な治療が必要 |

KW分類

高血圧による細動脈の変化を表したものです。

| 分類 | 所見 | 対策 |
|----|-----------------------------------|---|
| 0度 | 正常 | |
| 度 | 軽い細動脈の狭細と硬化 | 初期の変化で、他の臓器の血管障害は ないと判断される ときどき血圧測定が望ましい |
| a度 | 中・高度の硬化、動静脈の反射高 進、動静脈交叉現象が見られる | やや進んだ動脈の変化 十分な血圧管理が必要 |
| b度 | 網膜静脈の血栓なども 伴う | 進んだ動静脈の変化 全身の臓器の動脈硬化の予防と血圧管 理が必要 |
| 度 | さらに 網膜の浮腫、綿花様白斑 出血が見られる | 血圧は持続的に高く、軽い心・腎機能 の障害、心電図異常など全身の異常が 見られる 放置すると悪化するので医師による 管理が必要 |
| 度 | さらに乳頭の浮腫が加わる | 血圧は著しく高く固定していて 心・腎障害が著明 嚴重な管理が必要 |

| Davis分類 | | 糖尿病網膜症の病期の分類 |
|---------|--------|---------------------------------------|
| 分類 | 所見 | 病期 |
| 0 | 正常 | |
| 1 | 単純網膜症 | 毛細血管瘤、網膜出血、硬性白斑 |
| 2 | 増殖前網膜症 | 軟性白斑、網膜内細小血管異常（IRMA）、静脈異常 |
| 3 | 増殖網膜症 | 網膜・乳頭上新生血管、硝子体・網膜前出血、線維血管性増殖膜、牽引性網膜剥離 |

眼は口ほどにものを言う！

前に記したように、眼底検査を行うと、眼科的な病気の外、高血圧や糖尿病などで起こる眼底の出血や動脈硬化の有無・程度が分かります。これらの病変が進行すると、視力が落ちたり、ときには失明することもあります。「目は口ほどにものを言い」という諺通り、眼はさまざまな病気の存在や状況を教えてくれるのです。

このため「要経過観察」という判定を受けた方は、何か思い当たる症状があれば、医師にご相談ください。また「要精密検査」になった方は、眼科に受診して精しく調べてもらい、高血圧や糖尿病のせいで眼底に異常が現れているようなら、内科で必要な指導や治療を受けてください。